

第44回ふるさとづくり七二会地区文化芸能祭

11/2



展示部門



書道



写真



七二会小学校



小坂福寿草写真コンテスト応募作品

昨年度に続き、旧七二会中学校体育館を会場に開催しました。ステージで行われた芸能部門では、倉並若連による太々御神楽、琴やフルートの演奏、謡曲、フラダンス、太極拳、中国語での演劇、陣場平音頭が披露され、トリには、今年度で最後の出演となる舞美会の川住豊子さんによる北の漁場の舞踊が披露され、盛大な拍手を受けていました。

体育館とミーティングルームで行われた展示部門では、各地域公民館に寄せられた地域の方の作品、七二会保育園・七二会小学校・七二会子どもプラザ・Sasalandの園児・児童の作品を展示しました。いずれも力作揃いでした。



発行所	長野市立七二会公民館 (229-2761)
編集人	館長
発行人	高野光昭
印刷	南小池印刷
規模	(7.12.1現在)
人口	1,205人
男	575人
女	630人
世帯	624世帯

芸能部門



太々御神楽 (倉並若連)



〈箏曲〉フォークソングメドレー (KOTOKOTO)



〈フラダンス〉愛のモーニングデュー・なだそうそう (カフラピコ七二会)



太極拳24式・カンファー扇 (ダージャータイチェン七二会)



〈フルート〉
少年時代・TAKUMI匠 (塚田恵美子さん)



〈謡曲〉鶴亀 (古間謡曲クラブ)



〈アイカハク〉
カフラピコ七二会・石坂由美さん



〈舞踊〉
北の漁場 (舞美会・川住豊子さん)



〈演劇〉三只小猪 (快樂中国語)



七二会陣場平音頭 (陣場平音頭の会)

第4回七二会地区大運動会

10/5

地区と小学校合同の大運動会が開催されました。最初の競技種目は、小学校種目「やまかんレース」です。勘で赤白どちらかのコースを走り出した後に、多く上がった旗の色と同じ方向に走り直します。やまかんが当たって余裕で走る児童や、やまかんが外れて一番後ろから追いかける児童もいて、大声援を送られていました。また、地域種目の「デカパン運び競争」は、2人一組でドでかいパンツをはいてバドミンントンのラケットにパンを載せてゴールまで運びます。小さなお子さんを抱えて走るお父さんやパンツが邪魔で転んでしまう人もいて、微笑ましく、楽しい競技でした。

この他にも、とても頑張った児童種目のダンスや力一杯引いた綱引き、児童と地域の皆さんが協力した大玉送りなど、半日でしたが見て楽しい、やって楽しい運動会でした。



勘が当たった! 【やまかんレース】



もうすぐゴール? 【デカパン運び競争】



元気に踊る 【ハンドクラップ】 【きみのゆめは ぼくのゆめ】



地域種目 【シン・運だめし】



手を引かれてゴールを目指す
来入児 【まわれ かざぐるま】



カー一杯引きました 【綱引き】



上手く入るかな
【玉入れ】



児童会種目
【ちょっと手伝って
もらえますか】



大迫力の戦いでした 【大人の綱引き】



児童と大人が一体となった 【大玉おくりにあえべさ】



みんなで輪になって踊る 【陣場平音頭】

「シルク時空をこえて」映画上映会 (11/3)



小学校の児童による蚕飼育やシルク灯笼制作の学習発表がありました。発表の題名は「ジタバタ蚕騒動記③『あく涙の19個』編」です。今年、新作を開発したシルク灯笼にまつわる様子を劇風に発表しました。

七二会の良さを再発見し、知ってもらうことを目的に活動している七二会いとこ発見委員会の主催で、旧七二会中学校体育館で開催しました。この上映会は、長野市から交付を受けた七二会支所発地域力向上支援金を活用して開催し、約160人の方が来場されました。最初に、七二会

映画は、明治から大正、昭和にかけてシルク産業が繁栄した岡谷のほか、飛騨古川、福島、群馬、横浜、京都、伊勢そしてアメリカ。フランスのシルクの歴史をたどるドキュメンタリー映画です。昭和30年代まで繭や蚕種を海外へも輸出するほど盛んだった七二会地区の養蚕に思いを馳せながら映画を鑑賞していました。上映後は、熊谷友幸監督から映画製作秘話をお話いただいたほか、七二会小学校の児童に真綿(シルクの綿)がプレゼントされました。



大勢集まった観衆



児童の蚕飼育やシルク灯笼制作の学習発表



七二会小学校の児童が作ったシルク灯笼

木育教室 in なにあい (9/27)

幼少期から木と触れ合うことで五感が刺激され、感性が育ち、木と人との関わりや繋がりの中で豊かな心が育つと言われている「木育」について、長野県木材協同組合連合会の松本寿弘さんと長野県森林組合連合会の皆さんを講師に迎え、18名が参加して開催しました。

森林や県産木材に関するクイズのほか、様々な木の色の駒で寄木をして、模様や虫などの形のストラップやマグネット、ピンバッジ等を作りました。講師からは、「今日のお話

福寿草株分け講習会 (10/16)

昨年度実施した「福寿草の株分け講習会」を今年度も開催しました。今回の主催は七二会里山整備利用推進協議会、共催は小坂福寿草群生地愛護会、七二会花いっぱい会、七二会公民館で、七二会公民館のエントランスで10名が参加して行いました。

講師は、樹木医の山本裕美さん。培土と赤玉と肥料の配分と混ぜ方、福寿草の株の根の処理方法を教わりました。福寿草は、自然環境下では、自然に合わせて、時には何年もかけ

を一つでいいので覚えておいてほしい」と話がありました。豊かな自然環境に恵まれているこの七二会で、親子で木と触れ合いながら木について学び、木の良さを知り、七二会の自然に関心を持つ良い機会となりました。



上手に作れるかな? できました!

て発芽して、少しずつ増えていくが、人間の環境下では、温度や日当たり、肥料など適切な管理をしないと増えないことを教えてもらいました。改めて自然の繊細さや植物が微妙なバランスの中で育っていることを学びました。



株分けした福寿草



福寿草を苗ポットに植えています

歌を楽しもう!

♪なつかしい童謡を
楽しく歌い・語りましょう

10/20

信州新町公民館長の千野和江さんを講師に迎え、22の方が参加して小さい頃歌った懐かしい童謡唱歌を歌いました。

最初に、体や顔の筋肉をほぐした後、春・夏・秋・冬の季節に合わせた曲を歌いました。曲目は、春の足音を感じると口ずさみたくなる「春の小川」、ふるさとの情景が浮かんでくる「朧月夜」のほか、「茶摘み」や「赤とんぼ」などを歌詞の意味や歌い方を教わりな



講師の千野和江さんと
伴奏の馬場真美さん



七二会合唱団の誕生

から歌い、最後に「見上げてごらん夜の星を」を一日限りの「七二会合唱団」のように、みんなで気持ちを込めて歌いました。とても楽しい時間を過ごせました。

歴史探訪

11/5

「長野市の地下壕と 松代藩史跡めぐり」

第二次世界大戦が終結して80年の節目に当たる今年度は、戦争を今に伝える「松代象山地下壕」と安茂里小市の「小市大本営海軍部壕跡」を訪ねました。全国から見学者が訪れる松代象山地下壕は、市によって当時の状態のまま保存され、一部が公開されています。完成していれば、ここに政府機関等が設置され、何百人・何千人もの人が従事したことでしょう。また、規模は比較にならないほど小さいですが、小市大本営海軍部壕跡は市民団体である昭和の安



小市大本営海軍部壕跡



松代象山地下壕

茂里を語り継ぐ会の皆さんが壕跡の復元だけではなく、当時の資料も収集し、地元にある戦争遺跡を熱い想いで管理運営していました。松代の真田十萬石の城下町にある江戸時代の史跡もめぐり歴史に思いを巡らせる一日となりました。

フランス文化に 触れてみよう!

11/8
11/22



第1回目講師の
アントワヌ・モローさん
常生活や簡
単なフラン
ス語を学び、
楽しくフラ
ンス文化に
触れること
ができました

ワーキングホリデーで七二会に滞在したこともあるフランス人のアントワヌ・モローさんと長年フランスで生活していた岩草区在住の井上和寿子さんを講師に迎え、フ

た。アントワヌさんは、フランスの4つ星レストランでの調理師の経験があり、フランスのワイン事情のほかにレストランで使うフランス語を教わりました。井上和寿子さんからは、パリのカフェの歴史やコーヒーとパンの日本の違いについてお話しされ、カフェで使うフランス語を教わりました。また、試飲したエスプレッソは一味違いました。



第2回目講師の井上和寿子さん
(岩草区在住)

七二会早起き野球連盟解散

チーム数の減少に伴い、令和7年11月22日の総会を以て49年の歴史に幕を閉じました。解散時のチームは、「ファミリーズ」「寄多倉S」「古間クラブ」「信更クラブ」の4チームで、最盛期には、15チームがありました。

文芸

十一月の陣場会より

俳句

- 一椀の粕汁人を欺かず 溝口 仁一
- 粕汁や礼状一つ書き始め 宮下 弥子
- 粕汁の思わぬ酷に下戸は酔い 割田真佐子
- 冬に入る刈株並ぶ田の静寂 太田 春子
- 立冬や海を後ろに葡萄菊畑 内海 広
- 冬立つや寝覚めの日暮れシャンブー台 寛野 直子
- 頬被りして庭いじり老夫婦 北島 允子